

# がんばってます!



**田中 伸悟さん**  
紹介JA：JAあまくさ



天草市有明町で、ミニトマト・米の栽培をされている田中伸悟さん（35歳）を取材しました。  
田中さんは奥様と、ご両親の4人家族です。

## ●就農について

専門学校卒業後、熊本市内で就職。いつかは水稲や花の栽培をしている実家の後を継ぐことを考えていたことから、2年前の4月にご夫婦で実家へ戻り、1年間、ご実家の仕事の手伝いや研修を受け、昨年4月から本格的に就農となりました。

## ●農業をやっている良かったこと

「本格的に農業をやりだしてから1年ということもありますが、やはり収穫の喜びが一番です。自分で育てた作物の収穫は、格別ですね。」

## ●つらかったこと

「休みが無いことです。両親を見ていて分かっていたと思いますが、実際に休みがないと辛いですね。でも、まだまだ今からです。周りを見て、仕事の要領をつかめば、少しずつ休める時間を作ることができると思います。」

## ●将来の目標

「規模拡大は、秋から増やすことで様子を見て考えていきます。この規模で、味の良いミニトマトの収量を増やすことができればいいですね。収量でトップクラスに名を連ねるのが目標です。まずは家族円満が一番です。」



田中さんのミニトマト

## ●新規就農を考えている方へ

「規模によりませんが、それなりの覚悟が必要です。やはり、生活がかかっているので楽しみただけでは大変です。また、就農前に色々な種類の農作物の体験や見学をすると勉強になります。自分のやりたい農業や目指すものが見えてくると思います。」

近所の方が作られたトマト大福が美味しかったと語る田中さん。毎日「気合!!」を注入し頑張られています。かわいい奥様と二人、笑顔の絶えない田中さんでした。

**出荷者：梅田 泉さん**  
直売所：JA阿蘇小国郷  
よかご朝どり市  
紹介JA：JA阿蘇



阿蘇郡小国町で、小ネギ、大根等の栽培をされている梅田さんを取材しました。  
梅田さんのご家族は、旦那様と梅田さんのお母様の3人家族です。

## ●就農について

近くに住む息子さんご夫婦のお孫さん3人、娘さんご夫婦のお孫さん3人とそのひ孫さんの総勢7人が、ちよくちよく顔を出してくれるため、にぎやかな毎日を送られています。

梅田さんは、小国町西里で生まれ育ち、学校卒業と同時に実家の乳牛（ジャージー）と稲作農家を手伝うかたちで就農となりました。その後、同じ西里の旦那様のもとへ嫁がれました。農業歴は旦那様より梅田さんが長く、結婚当初は梅田さん

## ●直売所への参加

「JA女性部が立ち上げた直売所から今の直売所になり、その時から参加しています。最初は古い店舗で、店先に多くの商品を並べていました。その当時から、ものすごく売れていました。」

現在4年目で新しい店舗にて営業していますが、やはり売れ行きが良く、最低

## ●七草栽培

日本の伝統行事である「七草」も栽培されています。ハウスで7種類。「七草」の名前が分からない人もいるこのご時世。小国郷と南小国の6農家で、伝統行事を絶やさないうよう頑張られています。

## ●今後の抱負

「野菜の品数を増やしたり、加工品を作りたいです。また、果樹類に挑戦したいです。」

「野菜ソムリエ」に挑戦中の梅田さん。

自分で作っている野菜のこと、またその他の野菜のことを知りたくて勉強されています。JA女性部のイベント参加や直売所への商品陳列など、毎日多忙な梅田さんでした。